



Data(2014 年 12 月現在)

所在地: 〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500
スタッフ: 飯降聖子(教授), 植村小夜子(准教授: 在宅), 小林孝子(准教授), 馬場文(助教), 小島亜未(助手), 川口恭子(助手)
URL <http://www.usp.ac.jp/>

滋賀県立大学人間看護学部人間看護学科 公衆衛生看護領域

History and Now

どのような機関なのでしょう？

滋賀県立大学は、1995(平成7)年に開学し、「キャンパスは琵琶湖。テキストは人間」をモットーにして教育が進められてきました。人間看護学部は2003(平成15)年に短期大学部から昇格し、大学に加わりました。本学は現在、4学部、4研究科(人間看護学研究科含む)を擁し、学術分野にとらわれない学部・学科構成による教育研究を行っています。

公衆衛生看護領域は、公衆衛生看護学と在宅看護学の教育を担当するため、6名の教員が配置されています。

Education

どのような教育をしていますか？

人間看護学部では9つのディプロマポリシー(学位授与方針)を掲げています。「倫理観を確立し、人間を総合的に理解でき、健康上の課題に対して科学的なアプローチを行い、解決のための方策を立案できる能力」「人に対する洞察力やコミュニケーション技能などを身につけ、他職種と協働できる能力」などを基礎的能力として位置づけています。

公衆衛生看護学・在宅看護学では、基礎的能力に加え、地域社会や国際社会まで見通す広い視野をもち、社会情勢や地域特性を踏まえて、生活実態に応じた看護を提供できる能力の育成をめざしています。2012(平成24)年度の入学生から保健師教育が選択制になり、30名の学生を養成しています。また、新たに12単位を加え、卒業要件単位を141単

位としました。

Research

どのような研究をしていますか？

研究に関しては、大学が科研費の獲得を推奨しているもので、全員が応募する姿勢で臨んでいます。現場から初めて来た教員も、スタートアップの科研費を得て研究に取り組んでいます。現在、「人工呼吸器を装着して在宅療養をされている方の自助活動」に関するテーマで科研費を獲得し、3名が研究しています。

個々に取り組んでいる研究テーマとしては、「高齢者の健康」「地域母子保健」「保健師教育と地区診断」「育児相談」「低出生体重児の養育」「児童虐待」「健康教育の方法」「引きこもり者に対する支援」などがあります。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

人間看護学部は、「地域交流看護実践研究センター」をもち、日頃から病院や行政の看護職からの相談に対応し、地域での保健医療福祉における看護研究に協働して取り組んできています。また、まだ1年間の実績に過ぎませんが、人事面での交流(教員と行政の保健師さんとの配置交換)も実施してきています。大学がCOC(Center of Community)事業に取り組んでいることから、行政の各種委員会への参画はもとより、地域住民の健康の維持増進活動に寄与すべく、住民との協働活動も始めているところです。

ひとこと

看護学は基本的には人を対象とする学問です。したがって、多くの学問分野で得られた知見を取り込んで発信してきています。今後は、看護学を修めた人たちが他の学問分野に進出し、そこで貢献してほしいと思います。そのような時代が来れば、看護学が真の意味で確立できたと言えるのではないのでしょうか。……飯降

あなたの研究室を紹介してください！ 保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりを紹介してください。

応募方法 ● 電話、FAX、E-mail のいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ● 医学書院『保健師ジャーナル』編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 ✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp